

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 大東紡織株式会社

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 算 正澄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 加久間 雄二

TEL 03-3665-7816

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,476	△12.8	8	△80.8	△266	—	△494	—
21年3月期第3四半期	8,570	—	45	—	△229	—	△256	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△16.50	—
21年3月期第3四半期	△8.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	24,709	5,011	18.4	152.07
21年3月期	25,781	5,515	19.6	169.11

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,553百万円 21年3月期 5,063百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,170	△4.8	△30	—	△420	—	△670	—	△22.38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社 (社名) 除外 1社 (社名 高田三東スーツ(株))
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	30,000,000株	21年3月期	30,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	59,872株	21年3月期	57,853株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	29,941,286株	21年3月期第3四半期	29,944,632株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善に伴う輸出の増加や政府による経済対策効果などにより持ち直しの動きが見られたものの、企業収益及び雇用・所得環境は依然厳しい状況に置かれており、総じて低調のまま推移いたしました。

繊維・アパレル業界におきましては、雇用・所得環境に回復の兆しが見えないことなどもあって消費者の買い控えや価格の下落傾向が続き、厳しい状況が続きました。

不動産賃貸業界における商業施設については、売上は依然として前年を下回る状況ですが、マイナス幅は改善する等徐々に回復の兆しが現れています。

このような事業環境の中で当社グループは、繊維・アパレル事業につきましては企画提案型OEM事業の強化を図りました。また、不動産事業につきましては「サントムーン柿田川」及び「サントムーンアネックス」の競争力向上に努めてまいりました。

しかしながら、繊維・アパレル事業の不振が響き、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,476百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益8百万円（前年同期比80.8%減）、経常損失266百万円（前年同期は経常損失229百万円）といずれも前年同期を下回りました。これに取立不能の懸念のある取引先に対する債権についての貸倒引当金繰入額61百万円及び取立不能となった債権に対する貸倒損失59百万円等合計207百万円の特別損失を計上し、これに法人税、住民税及び事業税等を加えた結果、四半期純損失494百万円（前年同期は四半期純損失256百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（繊維・アパレル事業）

素材部門につきましては、市況は低迷しておりますが、売上高は前年同期並みとなりました。

ユニフォーム部門につきましては、民需は企業業績悪化の影響を受け苦戦を強いられました。官公需は官公庁・地方自治体ともに経費削減を進めていることから受注が伸び悩み、売上高は前年同期を下回りました。

衣料部門のうち、メンズ衣料につきましては、新規取引先の開拓に注力しましたが、厳しい環境のもと総じて既存取引先からの受注量が減少したことから、売上高は前年同期を大きく下回りました。レディース衣料につきましては、平成20年11月の(株)コスモエイの事業譲受によるニット・雑貨分野の売上が加わったことや業績好調な取引先との取り組み強化・新規取引先の開拓を推進した結果、売上高は前年同期を上回りました。

寝装品部門につきましては、夏場にエコ関連商品の売上が好調だったものの、寝装品は消費低迷による販売不振が続いており、更に秋以降の流通在庫過多による受注減の影響が大きく、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、繊維・アパレル事業は売上高5,780百万円（前年同期比16.8%減）、営業損失242百万円（前年同期は営業損失128百万円）となりました。

（不動産事業）

「サントムーン柿田川」は競合店出店の影響を受けたものの、販売促進企画の奏功やシネマコンプレックスの来客増などにより施設全体の売上高は前年同期を上回りました。「サントムーンアネックス」につきましても好調なテナントへの来客増やエコポイント効果などで売上が伸びたことから順調に推移いたしました。

この結果、不動産事業は売上高1,696百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益548百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

- （注） 1. 上記の事業の種類別セグメントの業績に記載している営業利益は、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。
2. 所在地別セグメントの業績につきましては、全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。
3. 当社の消費税等に係る会計処理は、税抜方式によっているため、記載した金額には消費税等は含まれておりません。
4. 記載している見通し等将来についての事項は、本資料の発表日現在において判断したものであり、予測しえない経済環境の変化等様々な要因があるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況に関する分析

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は24,709百万円（前期末は25,781百万円）となり、前期末

に比べ1,072百万円減少（前期末比4.2%減）しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少573百万円、建物及び構築物の減少382百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は19,697百万円（前期末は20,266百万円）となり、前期末に比べ568百万円減少（前期末比2.8%減）しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少123百万円、短期借入金の減少272百万円、返品調整引当金の減少145百万円、長期借入金の増加103百万円、長期預り保証金の減少141百万円によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産の残高は5,011百万円（前期末は5,515百万円）となり、前期末に比べ503百万円減少（前期末比9.1%減）しました。これは主に、四半期純損失494百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで371百万円のプラス（前年同期比76.6%減）、投資活動によるキャッシュ・フローで93百万円のマイナス（前年同期は2,435百万円のマイナス）、財務活動によるキャッシュ・フローで210百万円のマイナス（前年同期は508百万円のプラス）となりました。

これらの各活動に加え、為替相場の変動による資金に係る換算差額1百万円のマイナスを反映した結果、資金の残高は1,116百万円となり、前期末に比べ65百万円増加（前期末比6.3%増）しました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは371百万円のプラス（前年同期比76.6%減）となりました。これは主に、売上債権の減少572百万円、仕入債務の減少123百万円、預り保証金の減少112百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは93百万円のマイナス（前年同期は2,435百万円のマイナス）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出24百万円、出資金の払込による支出68百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは210百万円のマイナス（前年同期は508百万円のプラス）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額921百万円、長期借入れによる収入1,530百万円、長期借入金の返済による支出2,620百万円、リース債務の返済による支出40百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年11月12日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であった高田三東スーツ(株)は清算終了したため、連結の範囲から除外しました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,106,966	2,040,988
受取手形及び売掛金	1,840,927	2,414,714
有価証券	9,946	—
たな卸資産	738,327	935,415
その他	314,417	245,650
貸倒引当金	△65,593	△63,973
流動資産合計	4,944,992	5,572,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,205,082	9,587,110
土地	9,344,476	9,343,286
その他(純額)	394,933	468,010
有形固定資産合計	18,944,491	19,398,407
無形固定資産	91,841	94,160
投資その他の資産		
投資有価証券	282,964	309,826
破産更生債権等	873,343	953,668
その他	430,324	351,145
貸倒引当金	△858,690	△898,430
投資その他の資産合計	727,941	716,209
固定資産合計	19,764,275	20,208,777
資産合計	24,709,267	25,781,573

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,691,012	1,814,372
短期借入金	3,602,260	3,875,154
未払法人税等	11,948	11,455
繰延税金負債	1,924	446
返品調整引当金	26,883	172,605
賞与引当金	29,887	35,447
関係会社事業整理損失引当金	—	67,000
その他	988,529	894,588
流動負債合計	6,352,446	6,871,069
固定負債		
長期借入金	6,459,800	6,356,427
長期預り保証金	3,645,573	3,787,472
繰延税金負債	1,073	3,861
再評価に係る繰延税金負債	2,941,904	2,941,904
退職給付引当金	89,848	66,194
その他	206,975	239,634
固定負債合計	13,345,174	13,395,494
負債合計	19,697,621	20,266,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△1,670,486	△1,176,345
自己株式	△6,606	△6,453
株主資本合計	326,282	820,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23,440	△7,841
繰延ヘッジ損益	2,943	4
土地再評価差額金	4,264,422	4,264,422
為替換算調整勘定	△17,176	△13,728
評価・換算差額等合計	4,226,749	4,242,856
少数株主持分	458,614	451,576
純資産合計	5,011,645	5,515,010
負債純資産合計	24,709,267	25,781,573

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	8,570,511	7,476,898
売上原価	6,719,694	5,760,505
売上総利益	1,850,816	1,716,393
販売費及び一般管理費	1,805,073	1,707,622
営業利益	45,743	8,770
営業外収益		
受取利息	9,995	3,178
受取配当金	—	3,531
その他	21,033	17,247
営業外収益合計	31,028	23,957
営業外費用		
支払利息	276,692	275,634
その他	29,417	23,830
営業外費用合計	306,109	299,465
経常損失(△)	△229,337	△266,737
特別利益		
固定資産売却益	290	—
投資有価証券売却益	9,552	—
貸倒引当金戻入額	373	—
特別利益合計	10,215	—
特別損失		
固定資産処分損	3,803	51,401
投資有価証券評価損	2,369	—
貸倒引当金繰入額	—	61,520
貸倒損失	—	59,433
関係会社事業整理損失	—	35,000
その他	607	—
特別損失合計	6,781	207,355
税金等調整前四半期純損失(△)	△225,903	△474,093
法人税、住民税及び事業税	20,213	10,220
法人税等調整額	13,570	△941
法人税等合計	33,783	9,278
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,421	10,769
四半期純損失(△)	△256,265	△494,140

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△225,903	△474,093
減価償却費	452,742	448,551
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△373	△38,110
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△164,248	△145,721
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,426	△5,559
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,379	23,653
関係会社事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△67,000
受取利息及び受取配当金	△14,310	△6,709
支払利息	276,692	275,634
固定資産除売却損益(△は益)	3,513	51,401
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,552	—
売上債権の増減額(△は増加)	411,881	572,120
たな卸資産の増減額(△は増加)	128,322	196,791
仕入債務の増減額(△は減少)	306,390	△123,059
預り保証金の増減額(△は減少)	453,420	△112,773
その他	243,818	59,982
小計	1,867,349	655,109
利息及び配当金の受取額	14,882	6,656
利息の支払額	△267,717	△278,802
法人税等の支払額	△22,747	△11,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,591,767	371,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,148,192	△24,566
固定資産の除却による支出	△400	—
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,130	—
有価証券の償還による収入	740,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,035	△1,014
投資有価証券の売却による収入	21,516	—
営業譲受による支出	△46,751	—
出資金の払込による支出	—	△68,686
その他	△1,771	510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,435,503	△93,756
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	434,333	921,129
長期借入れによる収入	2,244,000	1,530,000
長期借入金の返済による支出	△1,526,851	△2,620,650
担保提供預金の増加額	△740,000	—
セール・アンド・リースバックによる収入	100,000	—
リース債務の返済による支出	△2,279	△40,615
自己株式の純増減額(△は増加)	△315	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	508,887	△210,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,058	△1,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△340,907	65,977
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,728	1,050,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,412,820	1,116,922

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,948,698	1,621,812	8,570,511	—	8,570,511
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	541	7,076	7,617	(7,617)	—
計	6,949,240	1,628,888	8,578,129	(7,617)	8,570,511
営業利益又は営業損失(△)	△128,563	489,004	360,441	(314,698)	45,743

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,780,881	1,696,016	7,476,898	—	7,476,898
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	67	3,320	3,388	(3,388)	—
計	5,780,948	1,699,337	7,480,286	(3,388)	7,476,898
営業利益又は営業損失(△)	△242,389	548,730	306,340	(297,569)	8,770

- (注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業の種類類似性並びに製品の種類、性質及び販売市場等の類似性を考慮して区分している。

2. 各事業区分の主要品目

事業区分	売上区分	主要品目
繊維・アパレル事業	素材部門	糸、織物
	ユニフォーム部門	ユニフォーム用素材、制服
	衣料部門	紳士服、婦人服
	寝装品部門	ふとん、毛布、シーツ
不動産事業		不動産賃貸、商業施設の運営・管理

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略している。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。